

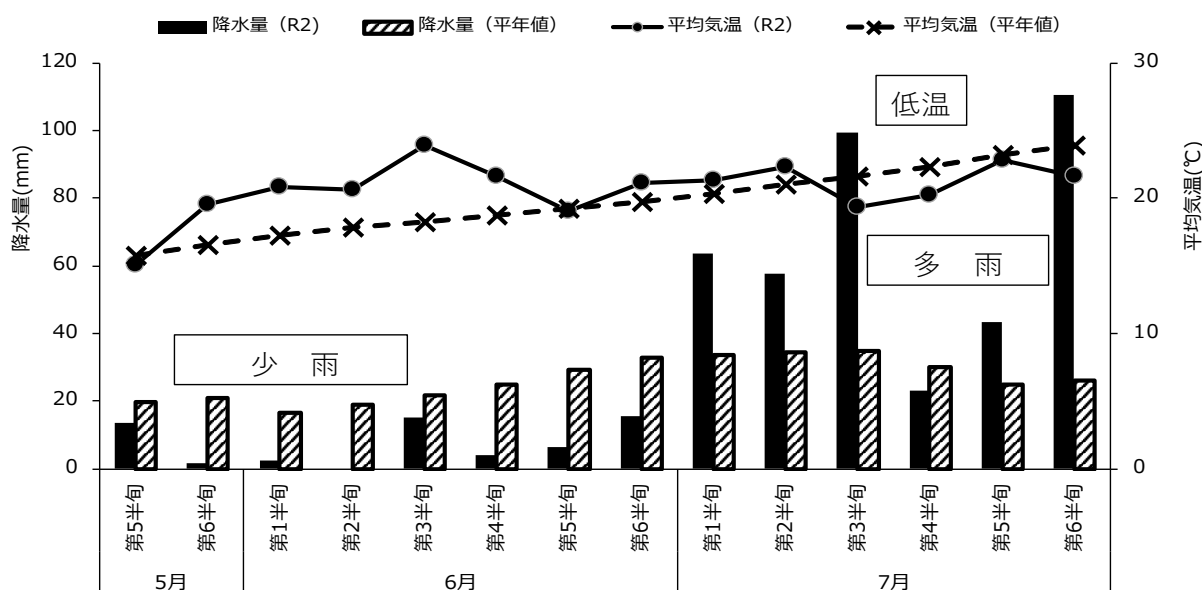
仙台大豆作情報

令和2年度第2号
 令和2年8月5日発行
 仙台農業改良普及センター
 TEL 022-275-8410

栽培管理のポイント

- ▷生育量が不足しているほ場では、速やかに中耕培土を実施しましょう。
- ▷排水対策を徹底し、根の健全化を図りましょう。
- ▷生育ステージを確認して、病害虫防除を適期に実施しましょう。

1 気象経過



2 大豆生育調査ほの生育状況 (7月30日調査)

品 種	調査年	播種期	主茎長 (cm)	主茎節数 (節/本)	分枝数 (本/本)	開花期
タンレイ 仙台市宮城野区 岩切地区	本年	5/30	77	13.8	1.6	7/25
	前年	6/2	38	9.7	1.4	8/2
ミヤギシロメ 仙台市若林区 七郷地区	本年	6/2	70	13.6	2.6	8/4
	前年	6/5	23	7.3	0.0	8/5

※「開花期」とは、初めて開花した株が全体の40～50%に達した日

【生育概況】

- ・播種は適期に行われたが、播種後、降雨が少なく土壌が乾燥し、出芽ムラが見られた。
- ・6月下旬から7月下旬まで降雨が続いたが、生育調査ほでは湿害は見られず、概ね生育は良好に経過している。しかし、ほ場によっては、停滞水により、中耕培土作業が遅れ、雑草（特にイネ科雑草）の発生が目立つほ場が見られる。また湿害により葉が黄化しているほ場も多い。
- ・生育調査ほにおける開花期は、タンレイが前年と比較して8日早く、ミヤギシロメは1日早くなった。

3 今後の栽培管理

(1)中耕培土

- ・湿害により生育量が不足（畦間が見えるなど）しているほ場がある。降雨により中耕培土ができなかったほ場では、**開花が始まっても中耕培土を実施して生育の回復を図る。**この際、**窒素成分で3kg/10a程度の追肥**をするとよい。

(2)排水対策

- ・明きよの補修等を行い、根の健全化に努める。
- ・台風シーズンに備えてほ場を見回り、明きよが崩れていないか確認する。

(3)雑草防除

- ・降雨が続く、中耕培土が適期にできなかったほ場が多く、また、除草剤を散布するタイミングを逸したほ場を中心に雑草の繁茂や大型化が見られる。
- ・コンバイン収穫では、成熟期に雑草が残っていると汚粒の原因となり、手取り除草が必要となる。このため、必要に応じて茎葉処理型除草剤（雑草茎葉塗布、全面茎葉散布）を使用や早めの手取り除草を検討する。

(4)病虫害防除

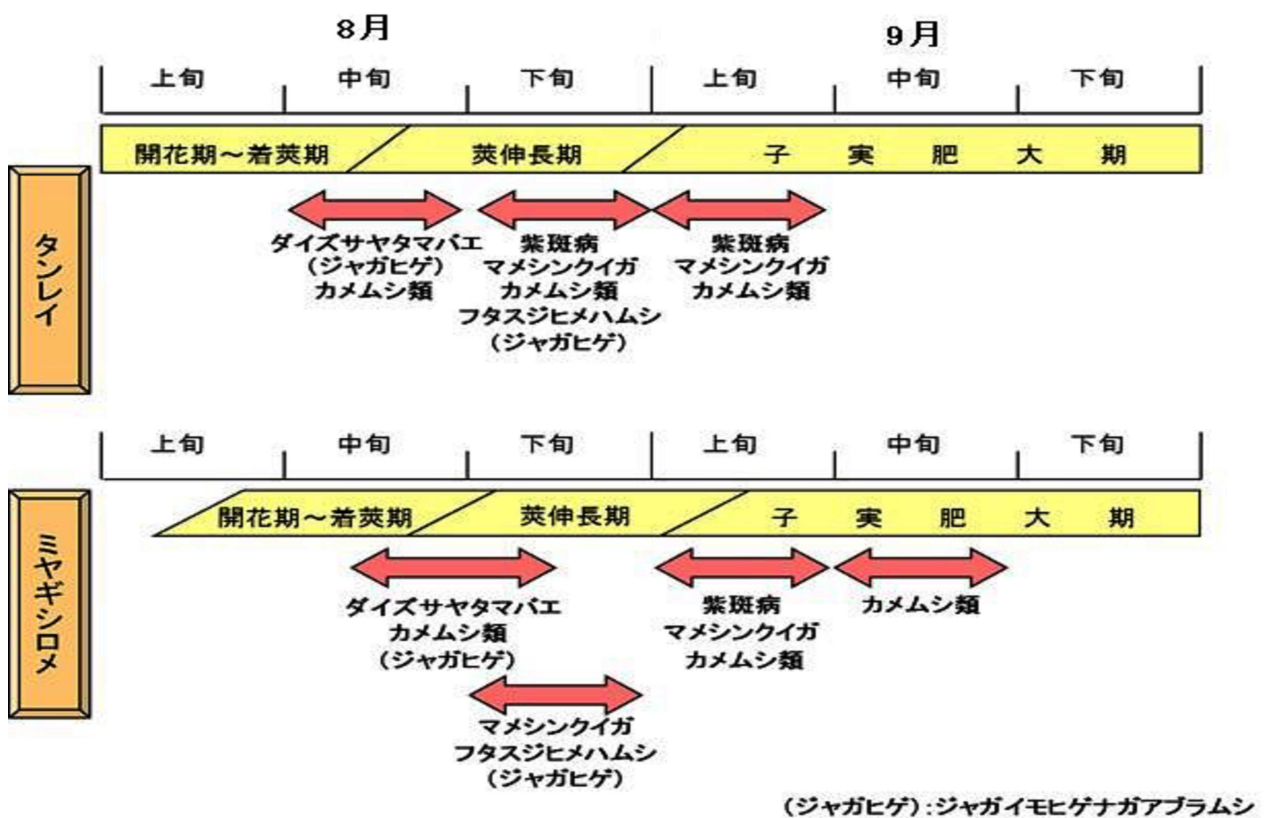


図 大豆病虫害の同時防除体系

①紫斑病

- ・開花期の20～40日後に1～2回薬剤防除を実施する。
- ・タンレイは紫斑病抵抗性が弱いので、必ず2回防除を実施する。
- ・紫斑病は害虫との同時防除が可能である。大豆の生育ステージをよく確認し、適期に効率的な防除を実施する。

②ジャガイモヒゲナガアブラムシ

- ・ 8月下旬から9月上旬に密度がピークに達するので、**多発した場合は防除を実施する。**
- ・ 防除後も密度が低下しない場合や急激に密度が高まった場合には、**薬剤の種類を変えて追加防除を実施する。**
- ・ 葉裏に寄生しているので、**薬液が葉裏によくかかるように散布する。**

③吸実性カメムシ類

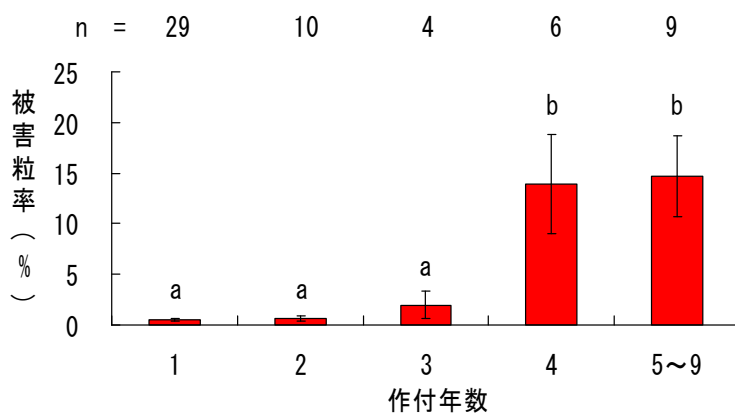
- ・ 開花期以降に発生が見られるほ場では、**着莢期と子実肥大中期の2回薬剤を散布する。**
- ・ 越冬地（雑草地、山林等）付近では発生が多くなる恐れがあるので注意する。



カメムシ類

④マメシクイガ

- ・ 大豆作付4年目以降に被害が多いので、連作ほ場では特に注意する。（下図参照）
- ・ 成虫の発生盛期は、概ね8月第6半旬～9月第1半旬と毎年ほぼ同じであるため、**1回目の防除は8月26日～9月5日に実施する。**

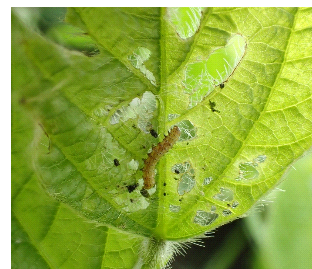


マメシクイガ幼虫

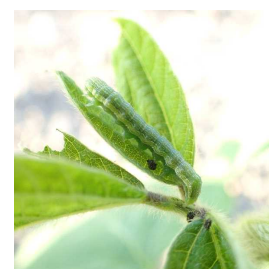
図 ダイズ作付年数とマメシクイガによる被害の関係
図中の縦棒は、標準誤差。図中の数字（n）は調査ほ場数。

⑤オオタバコガ

- ・ 突発的に発生することがあるので注意が必要である。
- ・ 本虫は1粒ずつ葉裏等に産卵する。若齢幼虫期には展開中の新葉に潜り込むことが多く、ほ場外からの観察で発生を確認することは困難になる。また、中齢幼虫期以降は莢に移動して加害することから、被害が大きくなる傾向がある。**8月以降、発生を確認した場合は速やかに防除を実施する。**



若齢幼虫



中齢幼虫

⑥ダイズサヤタマバエ

- ・ 被害莢は一部が小さくなって虫こぶとなり、子実、莢とも生長が停止して落莢する。**開花後期から莢伸長初期に1～2回薬剤を散布する。**

(4)畦間かん水

- ・大豆は開花期～莢形成期にかけて乾燥ストレスがかかると、落花・落蕾率が増え、減収につながる恐れがある。
- ・気象台発表1か月予報による向こう1か月の平均気温は、高い確率が60%となっている。
- ・ほ場半分の葉が裏返っている場合は水分が不足している状態であることから、「畦間かん水」を検討する。



葉が裏返っている様子

【方法】

- ①排水口・畦間・明きよをつなげる。
- ②水尻を閉めて通水する。
- ③ほ場全体に行き渡ったら水を止め、水尻を開ける。

4 東北地方の向こう1か月の天候の見通し（7月30日仙台管区気象台発表） 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。
- 向こう1か月の降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込みです。

■農薬危害防止運動実施中（令和2年6月1日から令和2年8月31日まで）

- ・ラベルに記載されている適用作物，使用時期，使用方法等を十分に確認しましょう。
- ・散布後には農薬の使用履歴を記帳しましょう。
- ・最新の農薬登録情報は，農林水産省消費安全技術センターのホームページで確認することができます。